



令和7年度 山梨県立富士河口湖高等学校 第3回学校運営協議会

日 時：令和7年12月12日（金）15:30～17:00
場 所：山梨県立富士河口湖高等学校 小会議室

（1） 第3回学校運営協議会次第

（司会 教頭）

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 校長あいさつ
- ③ 会長あいさつ
- ④ 議事（議長 会長）
 1. 生徒会活動について（生徒会主任）
 2. 生徒の進路の状況について（進路指導主任）
 3. その他
- ⑤ 連絡事項
 1. 学校評価について
 2. その他
- ⑥ 学校運営協議会委員より
- ⑦ 閉会の言葉（司会）

※今後の予定

第4回 令和8年 2月12日（木）学校評価・次年度基本方針について

令和7年度第3回学校運営協議会会議録

令和7年12月12日(金)15:30~17:00

於：小会議室

① 開会の言葉（教頭）

② 校長あいさつ

③ 会長あいさつ

④ 議事（議長 小石川会長）

1. 生徒会活動について

生徒会主任より説明 今年度、カヌー部が全国優勝を果たしました。この快挙を祝し、全校生徒を集めてお祝いとお披露目の会を開催しました。自分たちの学校から全国チャンピオンが誕生したことは、すべての生徒にとって大きな誇りであったと思います。特に、優勝した選手が3年生だったことから、1年生からは「僕たちも頑張ればなれるんだ」という声も聞かれ、良い刺激になったと感じています。

自己肯定感を高めるために、生徒会行事や部活動は、生徒が活躍できる貴重な機会です。勉強が得意な生徒は教室で力を発揮しますが、苦手な生徒が部活動や行事で輝く姿も高校生活の大きな価値だと感じます。学習支援はもちろん、学校行事や部活動にも生徒が主体的に参加し、充実した高校生活を送れるよう、教職員一同取り組んでまいります。

生徒が自分たちで考え、失敗を重ねながらも力を合わせてやり遂げる経験を積み重ねることが大切だと感じています。体育祭ではクラスの団結を示すハチマキを準備し、学園祭では生徒の提案でフォトスポットを設置、写真部が撮影を補助するなど、自発的な取り組みが見られました。

（委員A） 子どもたちにどのような実力を身につけさせるか。その根底には、自分たちの問題を自分たちで解決しながら力をつけていくことがあると感じています。体育祭や学園祭などの行事を通じて、生徒が考え、失敗を重ねながら取り組む姿はとても良い経験だと思います。子どもたちを信じて任せ、失敗を次の成功につなげる過程を支えながら成長を促す先生方の姿勢に好感を持ちました。
→生徒たちは行事ごとにミーティングを重ね、うまくいかなかった点を次回に生かす工夫をしています。また、学校行事におけるスマートフォンの利用については、生徒たちは「自分たちで決めたルールなら守ろう」という意識をもっていますが、今後職員間で共通理解を図る必要があります。

（委員B） 中学校では、自己肯定感を高めるために様々な取り組みを行っていますが、その基盤となるのはやはり基礎・基本の定着だと考えています。ICT活用など新しい取り組みも重要ですが、まずは基礎力をしっかり身につけることが不可欠です。中学校では、伝統や学校文化に根ざした取り組みは大きな成果を上げていますが、新しい試みに挑戦すると満足いく結果が得られないこともあります。高校でも同様の活動が行われていることを知り、こうした変化に対応できる人材を育成できるよう指導していきたいと考えています。

→承認

2. 生徒の進路の状況について

進路指導主事より説明 全国的に私立大学では学校推薦型選抜や総合型選抜の募集定員が増加しており、受験者数も増えています。本校でも同様の傾向があり、特に総合型選抜の受験者数は一昨年から4倍に増加しました。総合型選抜は、小論文、面接、プレゼンテーション、資格・検定試験の成績、各種コンテストの実績、共通テストの成績など、多様な方法で選抜されます。さらに、9月から出願が始まるため、志望理由書の添削、面接指導、プレゼン資料作成、活動記録の構成など、個別指導の割合が非常に高くなり、教員の負担が増加しています。以前から学校推薦型選抜については全職員で小論文や面接の個人指導を行ってきましたが、総合型選抜の急増には十分対応できていないのが現状です。

(委員C) 面接やプレゼンの指導を卒業生に手伝ってもらおうというのはどうでしょうか。経験を生かした指導ができると思います。

(委員D) 進路ガイドの体験記には、受験に特化した内容、例えば面接の様子などを記載してもらえると良いのではないのでしょうか。

→受験を終えた生徒が「受験報告書」として、面接の内容等を記録に残しています。

(委員E) 生成AIをうまく活用していくのもよいかと思います。しかし、面談の中でしっかりと生徒に愛情をもって指導していくということも必要である。

(委員F) 1年生の段階から「こういうプランで進路に向けて取り組む」という内容を保護者と共有し、早い時期から受験への意識を高める取り組みをお願いしたいと思います。

→ 予備校講師などに依頼し、保護者向けガイダンスも行っているが、より一層の取り組みを行っていきます。

→ 書類の作成や面接の指導等生成AIも利用しているが、こちらの思った通りの成果が得られないのが現状です。

→承認

3. その他

⑤ 連絡事項

1. 令和7年度学校評価について

今回の協議会では、1月に実施するアンケート結果に基づく学校評価の自己評価を提示します。協議会終了後、1週間から10日程度の期間で関係者評価をお願いする予定です。

2. その他

⑥ 学校運営協議会委員より

(委員H) 自己肯定感を高め社会で活躍できる人材を育てていただいていることが分かり、河高の未来は明るいと思いました。

(委員I) 自分の子どもの受験の時も1年生のうちからいろいろ準備してと思っていましたが、部活動もやっていたし、なかなか進路の方向性も決まらない中で、実際は3年生の部活引退後からの準備になってしまいました。それでも部活動ではいい経験をさせてもらったので、今後その力を活かして活躍してほしいと思います。

(委員J) 役場に河高OBがたくさんいるので、私からも声をかけますが、前回の探究活動や今回の進路指導に対して人材が必要であればぜひお声掛けください。

(委員K) 生徒会活動に対して生徒の自主性を重んじて、ある程度裁量を持たせて取り組んでいるのは素晴らしいことだと思います。私の息子もAOで大学に進学しました。早く決まった分後半だらけた感じがしました。その分大学でもだらけてしまうようなので、そういったことも指導していただけるとありがたいです。

(委員L) 知るということが自分を能動的に動かしていくのだと考えています。気に掛けるということが周りとのつながりを作っていくということを学ぶことができました。子供の学びを深めていくために大人が環境を作ってあげることが大切だと思います。

(委員M) 働き方改革もあるが子供と触れ合っていく大事なところを残していかなければならないと思います。

(委員N) 部活動を通して、達成感を得ることができます。また、活動の中で役割分担を学び、仲間とのつながりや帰属意識が芽生え、コミュニティの一員として主体的に行動できるようになります。失敗を経験し、その過程を振り返ることも大切です。進路指導においては、柔軟な対応が求められますが、安易に流されることのないよう注意しなければなりません。

閉会の言葉（教頭）